

## 大学院薬学研究科臨床薬学専攻

### ディプロマ・ポリシー

臨床薬学専攻では、別に定める修了要件を満たした学生に博士（薬学）の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証します。

1. 臨床薬学・医療薬学に関する豊かな学識とともに、科学的視点をもって最新の薬物療法を統合評価できる応用能力を身に付けている。
2. 地域医療の現状を理解し、地域医療が抱える薬物療法に関する問題を発掘・解決できる優れた研究能力を身に付けている。
3. 臨床現場において指導的な立場で他者と協力し、薬物療法に関する問題の解決に当たることができるマネジメント力、リーダーシップを身に付けている。

### カリキュラム・ポリシー

大学院薬学研究科の人材養成に関する目的に基づき、課題研究を遂行するために必要な基礎知識を修得し、臨床実地研修により地域の拠点病院において患者に提供されている最新の薬物治療の実際を学修するとともに、創造的研究の科学性と倫理性を備えた企画能力、推進能力、研究成果の論理的な表現能力、英語での論文発表能力を高める教育・研究を行います。

1. 臨床薬学・医療薬学における諸課題を解決するための基礎となる豊かな学識を培う科目を配置します。
2. 臨床の現場において科学的視点をもって最新の薬物療法を実践できる応用能力が身に付く科目を配置します。
3. 臨床現場の薬剤師に求められる高度な専門性と自立した研究能力を磨くための科目を配置します。
4. 医療現場において、薬物療法に係わるための倫理的配慮やチーム医療における薬剤師の役割を理解するための科目を配置します。